

# 『姿三四郎』英語版出版に協力

## 人間育成の実践で意気投合

### 山下泰裕氏、岡野会長に確約

『互いに協力し合って、『姿三四郎』の英訳化を』。十月下旬に同書の  
ポ語翻訳版の出版を進めている全伯講道館柔道有段者会（岡野脩平会長）  
は、今月十三日から開かれた第二十五回世界柔道大会開催などのために来  
伯したロス五輪（八四年）金メダリストで東海大学体育学部教授の山下泰  
裕氏（五〇）と話し合う機会を持ち、同書の英訳化実現に向けて相互協力  
していくことを決めた。○六年にNPO（特定非営利活動）法人の「柔道  
教育ソリダリティー」を創設、同理事長に就任している山下氏は、柔道を通じた人間育成を  
実践しており、ブラジルの貧困教育問題などにも力を注いでいく考えだ。

## 伯国貧困・教育問題支援も

### 柔道教育ソリダリティー事業活動

柔道教育ソリダリ  
ティーは、○六年四月に  
NPO法人として認可さ  
れ、（株）トヨタ自動車前  
会長で経団連会長などを  
歴任した奥田碩氏（柔道  
六段）が顧問を務める。

の発展途上国への送付、  
柔道指導者の派遣、各種  
講演会やシンポジウムの  
ほか、柔道を通じた異文  
化交流として海外での強  
化合宿などを実践してい  
る。

の企画案では、日本で始  
められた正しい柔道を伝  
える「柔道ルネッサン  
ス」運動の一環として、  
八歳から十二歳までの少  
年少女を対象にした柔道  
の礼儀や練習方法などを  
マンガで分かりやすく説  
明した小冊子を配布。ま  
た、貧困層の幼少年教育  
として、学業の成績が良  
く、柔道の稽古を熱心に  
行う子供たちを対象に企

講道館創始者である嘉納  
治五郎氏が掲げた「自他  
共栄」の実現を目指し、  
柔道を通じた青少年の育  
成に重点を置いている。  
具体的には、古柔道着

一方、全伯講道館柔道  
有段者会では、長年の懸  
案事項だった「姿三四  
郎」のポ語翻訳版の発行  
（三千部発行）を十月半  
ばに予定している。今後

業の協賛を得て無償で柔  
道着を配布することなど  
が検討されている。  
今回、リオで開催され  
た第二十五回世界柔道世



柔道を通じた教育の大切さに意気投合する山下氏（右）と岡野氏

界大会の席上で顔を合わ  
せた両氏は、互いに実践  
してきた共通の思いで話  
が盛り上がったという。  
日伯両国間でできる今後

のプロジェクトとして、有段者会が手がけた「姿三四郎」のポ語版を基礎にして今後、英語版の出版・普及を実現化するこ

とで協力しあう。  
山下氏によると「姿三四郎」の英語版は数年前、顧問の奥田氏が実現化しようと試みた経緯があるが、日本の武道精神など抽象的な表現を訳すのが難しく断念。その代わり山下氏と共著で奥田氏は「武士道とともに生きる」(角川書店)という書籍を出版している。

自ら現役時代は二百三連勝の記録を保持している山下氏は、「単なる勝ち負けだけではなく、柔道の修行を通じて身体を鍛え、世の公益に尽すことが嘉納先生の教え。正しい姿勢から正しい一本を取るという人間教育を世界の柔道として認識させていくことが、社会の貢献とともに日本の国益にもつながる」と強調する。

今回が四回目の来伯だという山下氏は来年百周年を迎えるブラジル日本

移民について、「大変な苦勞と思いの中で確固たる地位を作ってこられた。日本では失いかけた『日本人の魂』が、ここにはある。その苦勞の種を

蒔いてきたことが柔道でも今、花開いている。日本とブラジルのさらなる発展と交流を願ってやまない」と述べ、共通の熱い思いの中で実現できる

プロジェクトに協力していく考えを示した。  
柔道教育ソリダリティーのホームページは、[hid://www.ndo-jks.jp](http://hid://www.ndo-jks.jp)